

ゲマインシャフトと
ゲゼルシャフト

- コミュニティ
  - 提唱者
    - 
    - 社会学者テンニース
  - ゲマインシャフト
    - 自然発生的（地縁や血縁など）
  - ゲゼルシャフト
    - 人為的（利益や機能・役割など）
  - 近代化
    - 「ゲマインシャフト⇒ゲゼルシャフト」へ移行
    - 人間関係は疎遠になっていく
- 戦後日本
  - ゲマインシャフト（村落共同体）
    - 国民のアイデンティティの基盤
  - 戦後の高度経済成長期になると
    - 
    - 都市部へ就職
    - 次第にゲゼルシャフトへ
  - 当時の日本企業
    - 三種の神器
      - 村落共同体的な要素
      - 「終身雇用」「年功序列」「企業内組合」
    - 別形態のゲマインシャフトが引き継いでいた
- 現代社会
  - 完全なゲゼルシャフトへの移行が予想
  - 
    - 新しい社会の紐帯として機能
    - 人々は新たなつながりを求めている
    - SNS
      - 地理的制約を超える
    - 2枚目の名刺
      - 多様なアイデンティティ